

平成 30 年 11 月 11 日

臨床研究

「しょうにいんのうすいしゅ小児陰嚢水腫症例の手術理由および自然史に関する後ろ向き解析」

の対象となる患者さんおよび保護者の方へのお知らせ

しょうにいんのうすいしゅ小児陰嚢水腫は約 5%の男児に発生し、1-2 歳以降でほとんどの患者さんで自然消失します。そけい鼠径ヘルニアを合併する場合や自然消失が見込めない場合には手術が必要になることがあります。しかし、現在小児陰嚢水腫の自然史について明らかになっていないことも多く、治療方針についてコンセンサスが得られていないのが現状です。

2006 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに当院で小児陰嚢水腫に対して手術を受けた患者さんと、同期間に手術を行わずに陰嚢水腫が自然消失した患者さんを対象に後ろ向き研究を行います（研究期間は、2025 年 12 月までです）。研究を計画するにあたり、本学の医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得ております。通常の診療を受けたあとで、診療録から診断時期・診断契機、手術を決定した理由・時期、陰嚢水腫が自然消失した時期を抽出し検討します。新たに本研究のために検査等を行いません。

個人情報を守るため、診療録から情報を取得したあとで匿名

化を行います。具体的には、データから氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけます。新しい符号と氏名の対応表を紙媒体で作成し、鍵をかけて厳重に保管します。

本研究に関する研究費の取得や利益相反はありません。本研究の対象となる方で、ご自身の診療データを研究に用いられることを拒否される場合には、下記へご連絡ください。

連絡先：な 奈良県立医科大学 か 泌尿器科医局 ひ 担当：もり 森澤洋介

TEL 0744-22-3051 (代表)

研究機関：奈良県立医科大学 泌尿器科

研究責任者：森澤洋介